

A120

大学生による防災組織の効果と課題について:大学生による消防団活動と地域の活性化
 (北九大院)○(学)梅木久夫、(北九大国環工) 加藤尊秋、(北九州市消防局) 河崎優 川畠美晴

1. 研究の目的

阪神淡路大震災以降、大学生による自主防災組織及び消防団活動が実施されている大学や地域があるが、組織形態や活動目的が異なる。

本研究では、全国で実施されている大学生による防災組織等の効果と課題について比較・考察する。さらに、北九州市消防団の課題等を解決する一つとして北九州市における大学生防災組織の在り方と大学生消防団員の意義を探り、一般社会や産業界における安全に対する知識や意識、リスクコミュニケーション能力の向上を図るために社会的仕組みを提案するものである。

2. 全国の大学生防災組織の現状と課題**2-1 全国の大学生防災組織の現状**

全国では、防災サポーターや学生消防隊などの名称で組織されている大学があり、その主な活動目的も大規模災害時のボランティア活動や日常の災害対応など様々である。また、機能別消防団と位置付けられているものもあり、ほとんどの組織が地元の消防機関と連携している。

表1 主な大学生の防災組織

所在地	大学名	名称	位置付け
鎌子市	千葉科学大学	学生消防団	学生委員会所属のサークル
松山市	市内の4年制大学	大学生防災サポーター	機能別消防団
京都市	市内の大学等	学生消防サポーター	災害ボランティア
青森市	青森中央学院大学	災害＆緊急支援チーム	災害ボランティア
町田市	玉川大学	学生防災ボランティア	災害ボランティア

2-2 各組織の課題**①災害補償**

消防団に入団している大学生の消防団員としての活動は、災害補償制度が整備されている。消防団員でない大学生の災害補償を明確にする必要がある。

②防災組織との連携

自治体の防災を所管する行政機関との連携は必要不可欠である。また、学生消防団の場合、地域コミュニティの防災リーダーである消防団との連携なしでは活動は困難である。大学と自治体の消防・防災機関どうまく連携できるかが大切である。そのため、大学生防災組織を効果的に機能させるためには、それら団体相互の連携と大学生の受入れが円滑にいくことが重要である。

③学生の確保

どの団体も組織を編成するに当たり、学生の確保には苦労している。学生をはじめ、大学内で理解を得ることが、活動を通じて関係する団体(消防団や行

政組織)や地域住民の理解を得ることも重要である。

3. 北九州市における大学生防災組織の提案**3-1 提案する組織体制**

全国の大学生防災組織の現状と課題を踏まえ、北九州市では、はじめに北九州市立大学国際環境工学部(学生数1,109人)内で学生をメンバーとした自衛消防組織を結成し、学内の自衛消防組織の補助として位置付ける。消防・防災に関する訓練・研修を実施する。次に希望する学生を地元の消防団に入団させる。つまり、学内では自衛消防組織として、学外では消防団員として活動させる。

3-2 大学内での大学生防災組織の必要性

大学の理工系研究室では、火災危険の大きい化学物質や実験装置を取扱うことが多い。そのため通常よりも教官や学生達の安全意識は高くなればならない。この活動によって学生の安全意識を向上させることができる。

3-3 大学生の消防団活動の必要性

消防団は、団員(特に若年層)の減少や認知度が低いなどの課題を抱えている。大学生が積極的に入団すれば課題を解決することができる。さらに、大学での専攻を活かした活動や、言葉や生活習慣の異なる外国人に対する防災・防火指導など消防団の活動領域を広げることも可能となる。大学生にとっても消防団活動を通じて新たな研究題材の発見や年齢や職業の異なる人との付き合いによりリスクコミュニケーション能力育成等の利点がある。

表2 若年層等の人口【※平成21年3月31日現在(大学生・短大5月1日現在)】

	総数	消防団員
市内人口	979,766人	1,856人(0.18%)
若年層(18~22歳)	39,026人	44人(0.11%)
市内大学・短大生数	22,888人	7人(0.03%)

4. 地域および産業部門への効果

現在の企業にとって防災能力の向上は必要不可欠であり、その能力を有する人材を育成していくことが大切である。大学生のうちから消防団活動を通じて、住民等と接することにより、リスクコミュニケーション能力等の育成が図れ、大学生と企業や地域を繋ぐことができる。

<参考文献>

- [1] 「消防団員増加への時代転換を目指して」消防団機能向上のための総合戦略検討小委員会、総務省消防庁、2007.2.7
- [2] 総務省消防庁HP(<http://www.fdma.go.jp/syoboden/>)
- [3] 消防防災博物館HP(<http://www.bousaihaku.com/cgi-bin/hp/index.cgi>)
- [4] 北九州市の統計HP(<http://www.city.kitakyushu.jp/>)

* m09c0201@hibikino.ne.jp